

キャラクター名 プレイヤー名

メインクラス	アコライト	Lv.1:		レベル	5
サポートクラス	セージ	Lv.1:	セージ	性別	男
称号クラス				年齢	17
種族	ヴァーナ			境遇	天涯孤独
出自 (効果)	錬金術師			目標	運命

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	8	7	12	15	14	9	9
ボーナス	2	2	4	5	4	3	3
クラス修正	0	1	0	2	1	1	1
他修正							
能力値	2	3	4	7	5	4	4

HP	48
MP	59
フェイト	4

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手									
左手									
頭部									
胴部	ローブ					2			
補助	マント					1			
装身具	聖印								
能力値			3	0	4	0	4	9	7
スキル								1	5
その他									
総計(右)			3	0					
総計(左)			3	0	4	3	4	10	12
総計(両)			3	0					m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	5			5	+ 2 d
トラップ解除	3			3	+ 2 d
危険感知	5			5	+ 2 d
エネミー識別	7			7	+ 2 d
アイテム鑑定	7			7	+ 2 d
魔術判定	7			7	+ 2 d
呪歌判定					+ d
錬金術判定	3			3	+ d

所持品	
MPポーション	
MPポーション	
MPポーション	
ハイMPポーション	
冒険者セット	
小道具入れ	
マロリオン書簡	

現在重量: 13
 最大重量: 13
 所持金: 9994
 預金・借金:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
オーバーパス	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果:	狼族、移動力+5m、行動値に+1							
プロテクション	5	3	DR直後	20m	単体	自動成功	1/MP	
効果:	対象が受ける予定のダメージに-[SLd]							
ヒール	1	4	メジャー	20	単体	魔術判定		
効果:	3d+cv×3のHP回復							
クイックヒール	1	5	イニシ		自身	自動成功	シーン1	
効果:	ヒールをイニシ行動で							
エンサイクロペディア	1		セット		自身	自動成功		
効果:	しきべつ							
コンコードダンス	1		パッシブ		自身			
効果:	ぜんいんしきべつ							
アドバイス	3		判定直前	20	単体	自動成功	シナLv+1	
効果:	判定に+1d							
エフィシエント	3		パッシブ		自身			
効果:	効果をdで求めるものを+Lv×2							
ジョイフルジョイフル	1			20	単体	自動成功	シーン1	
効果:	再行動							
フェイス:アエマ	1							
効果:	HP MP回復効果に+2 スキル、アイテムどちらも可能							
ファーストエイド	1							
効果:								
マジカルハーブ	1							
効果:	ポーションもらえる							
フックダウン	1							
効果:								
モンスターロア	1							
効果:	敵識別のd+1							
効果:								
効果:								

制約:マロリオン書簡

【孤独】
 降る様な満天の星の下、エーミルは父親の形見を握りしめ草原に寝そべていた。母親は物心ついた時にはもういなかったし、父親は街に出かけたまま行方不明。感情のまま父親を探しに飛び出した先で家に帰れなくなりフラフラと外を彷徨い歩いては適当な場所で夜を明かすの繰り返しだった。温暖な気候だったため凍死することもなく、木の実も豊富だったため飢え死ぬこともなかった。ただちょっと肉が食べたいなぁと思う事もあり、狩の真似事を行なってみたがごとく失敗。大人しく木の実を食べて過ごすことにした。約二ヶ月の間彼は自然の中で誰とも出会わずに過ごした。後に彼はこの期間について「せめて地図を持って来ればよかった」と話したような。

【運命】
 それはまさしく運命と呼んでも差し支えない出来事である。その出会いはエーミルが神官を志すようになったものだ。

【白紙の書簡】
 それは父親から貰ったものだった。父親が渡して来たその書簡は何も書いていない白紙のままの物で、それでも力があってその書簡があるだけで彼の神官としての仕事は大いに捗った。この書簡を受け取る時父親は「巻き込むことになってしまいかもしれない。お前に何事もなければいいのだが……」と言った。なぜ父親がああマロリオン書簡の偽物を持っていたのかはわからない。だけど、彼はその書簡を大事に隠し持ちながら神官の仕事を全うする。